人とふれあい、見聞広げ

多感な中学生にとって、教育（修学）旅行は学生時代の一大イベントといえる。楽しみでもあり、また不安でもある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものに触れ、見て、人と接することで視野が広がることもある。ここでは充実した教育（修学）旅行を実施する４校の取り組みをレポートする。

八千代市立睦中学校
福島県・南会津町2泊3日
17年5月14～16日実施

今泉大輔教諭

民泊メインに3本の柱 クラスの心を一つに

千葉県八千代市の市立睦中学校（吉村昌彦校長）は、1947年に創立され、今年が71周年。地域には卒業生が数多く、またこの地域に長く住んでいることもあり、学校に対して協力的な人たちが多い。祖父母や親が卒業生という生徒の家庭も珍しくはない。生徒数は全学年合わせて約130人と、八千代市の中では小規模の中学校だ。

今年度の修学旅行は、3学年で5月14～16日の3日間、福島県の南会津町で実施した。目的は①南会津町の人々との交流を通して、人と人との絆について学ぶ②普段と違う環境の中での体験活動を通して、自然との関わりや暮らしなどについて視野を広げる③協働・共同作業を通して仲間意識を高める④集団での旅行を通して、マナーや常識を学ぶ―の四つ。特に重きを置いたのは、民泊だ。

3年生は男女合わせて37人。学年主任の今泉大輔教諭は「本校の生徒は、義務教育の小学校から中学校までの9年間、ずっと1クラスの同じメンバーで過ごすという特別な状況にある。これから社会に巣立っていくにあたり、初対面の人とどれだけ親密な関係を築くことができるかを修学旅行の大きなテーマにしていた」と話す。

生徒が考えたスローガンは「一期一会」。民泊先の人々をはじめ、おそらく生涯で1回しか会うことのない人たちと過ごす3日間になる。「一瞬を大事にしてその人たちときちっと接したいということがテーマとなった」（今泉教諭）。

民泊先で農業の手伝いをする生徒たち

チームワークも必要なラフティング体験

仲間意識も高まるジップライン アドベンチャー

郷土玩具、赤べこの色付け体験

メインの民泊体験は1日目から2日目午前にかけて。現地に着き、対面式を行った後、生徒は3人ぐらいずつに分かれて各民家へ。民泊先ではキノコや野菜、果物の栽培などその家の仕事や食事の準備・片づけなどの手伝いをした。

京都で座禅体験

奈良東大寺

中学3年の修学旅行では、生徒の自立を育む学校教育の一環として、2013年から奈良県明日香村での民泊（ホームステイ）を行っている。野菜の収穫など畑作業体験や受け入れ家族との共同作業に取り組み、地元の人とふれあう中で、社会でのルールやマナーなどを身に付ける。

修学旅行先を決める際に一番大事にしたことは、総合的な学習の実施が可能か。飛鳥時代の歴史学習や農家での自然体験学習、我が家から離れ、環境の異なる家庭のルールに合わせて生活する社会体験学習など、さまざまなことができる場所として明日香村を選んだ。

明日香村での民泊体験の特色は、棚田が残る里山で農村の暮らしに触れ暮らす人々と交流し、「家族」の一員としてありのままの日常を体験できることだ。また、1400年前の飛鳥時代の文化、歴史に触れることもできる。

17年度の修学旅行は、京都・奈良を旅行先に6月23～25日の2泊3日で実施。3年生60人（男子26人、女子34人）が参加。明日香村には2日目の午後に訪れ、3日目の朝まで過ごした。

明日香村に到着後は入村式を実施。受け入れ家族と対面した後、1班3～4人の17班に分かれ、民泊先の各家庭へと向かった。民家では、受け入れ家族と一緒にキトラ古墳や高松塚古墳など史跡学校に残っている職員とめぐりや畑作業、夕食作り、夜はホタル観賞などを行った。翌朝は片付けや清掃を手伝い、離村式では涙ぐむ姿もみられた。

多くの生徒は、民泊での家族との交流が最も思い出に残っていると話した。特に普段、首都圏で生活する環境との違い、歴史や自然などから新しい発見を感じ学んだようだ。

修学旅行の事前学習も実施。iPadを使用して、村の情報や遺跡などについて調べ、当日の行動ルートや観賞ポイントなどを決めた。当日は、旅行会社貸し出しのタブレットと情報をつなぎ、民泊先での状況や出来事をコメントや写真を使い他班や引率の先生、また農家で作物収穫などを体学校に残っている職員と験する林間学校を実施している。3年次では農家体験以外にも漁業体験や酪農体験などさまざまな分野の経験を積めるプログラムも検討したい」と語った。

今回の修学旅行では、民泊をメインとし、各種体験、仲間意識を高める文科系として会津の郷土活動（キャンプファイヤー、キャンドルサービス）を3本柱に据えた。今泉教諭は「民泊では全く無縁だった人たちとつながるということを意識する。各種体験では小グループだが、生徒同士の絆を深める。さらにキャンドルサービスで全体がまとまっていく。段階を追ってクラスが一つになれるように意図しながらやってきた」とその狙いを明かす。

修学旅行に関する作文ではほぼ9割の生徒が「最高だった」「クラスの絆が深まった」といった内容の感想を書いている。「その作文を見ると自分が意図した修学旅行になったのではないか」と今泉教諭。

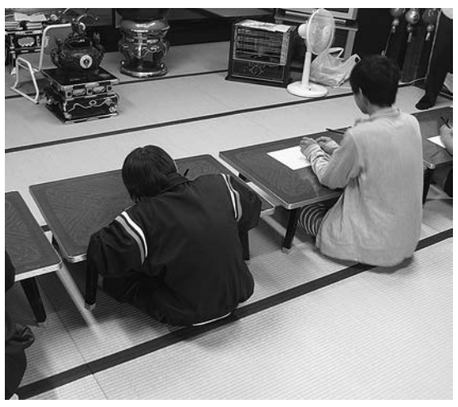
事後学習では、国語の授業の一環として生徒たちに暑中見舞いを民泊先へ送るという夏休みの宿題を出した。「今後少しでも民泊先の人との関係がつながっていけばうれしい」と今泉教諭は思っている。

クラスが一つにまとまったキャンドルサービス

浦安市立入船中学校
京都・奈良2泊3日
17年6月23～25日実施

林健太郎教諭

明日香村ホームステイ ありのままの日常体験


明日香村内の寺で勉強

明日香村で夕飯作り

離村式

JR新浦安駅から徒歩7分の距離にある、千葉県の浦安市立入船中学校（鈴木忠吉校長）は、1981年4月に開校。学区は駅の東側に位置し、保護者は東京に勤めをもつサラリーマンが大部分を占める。保護者の教育に対する関心が高い。現在、1～3年で計6クラスあり、生徒数は184人（男子82人、女子102人）と、市内に九つある中学校の中では最も小規模の学校だ。

教育目標に「豊かな心 思考 向上心～夢を目標に変え、実現に向けて努力する生徒～」を掲げ「自己」の育成に努めている。学校教育の特色としては、IT機器を使用した学習を取り入れていること。「iPad」を生徒1人に1台貸し出し、eラーニングなどで活用している。

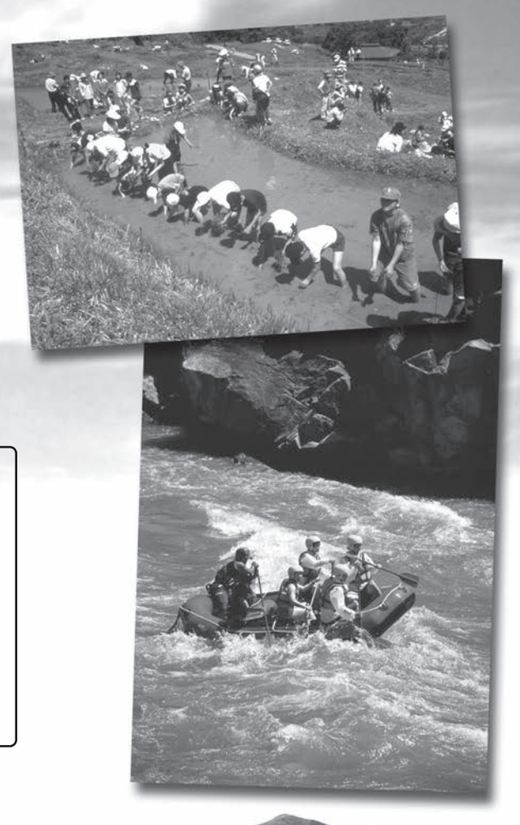
校外学習は、1年生はウォークラリー、2年生は地図を見ながらまわるオリエンテーリングを行う林間学校、3年生では地図を見て班別研修を行う修学旅行とステップアップを図っている。また、修学旅行は教育目標を実現する集大成として位置付けている。

修学旅行は「自立」をテーマとして掲げ、生徒たちがリーダーを中心にルール作りを行い、自分たちで考えて行動することを目指す。同校の生徒指導主事で3学年主任の林健太郎教諭は「生徒指導の上でも、2年生までは場面に応じて行動を指導してきた。3年ではこれまでの指導を踏まえ、行動をする前にまず自分たちで考え、能動的に行動し、その中で多くのことを学んでほしい」と語る。

年間4300校以上（平成27年度）にご来県いただいている

信州・長野県への学習旅行は

（一社）長野県観光機構は、長野県庁内に事務局を置き、国内外を問わず、長野県への学習旅行のご案内をさせていただいております。
資料請求・お問合せは下記まで！
皆様のご来県をお待ちしております。



お問合せ・資料請求先
（一社）長野県観光機構　担当:吉池・北沢
TEL:026-238-9670　FAX:026-232-3233
E-mail:gakushu@nagano-tabi.net
http://www.naganoken-gakushuryoko.net
〒380-8570（住所不要です）
長野県庁 1階

業務用 泡ハンドソープ
薬用 殺菌+消毒
LION
キレイキレイ 泡 ハンドソープ 医薬部外品
きちんと殺菌、バイ菌から手肌を守る！
持ちやすく、つめかえやすい
つめかえ用 2L を全香調にラインナップ！
ハンドソープ市場初！*
バイ菌を増やさない
抗菌ポンプヘッド**採用！
ポンプ 550ml
*抗菌製品技術協議会 2015年11月現在登録
**全ての菌に有効ではありません。ポンプヘッドは清潔に保ってください。
シトラスフルーティの香り　フルーツミックスの香り　フローラルソープの香り
香りもサイズも豊富　550ml、2L、4L、10L※、3種類の香りからお選びいただけます。※10Lはシトラスフルーティのみ
ライオンハイジーン株式会社
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル6階
TEL 03(5819)8005　http://www.lionhygiene.co.jp/